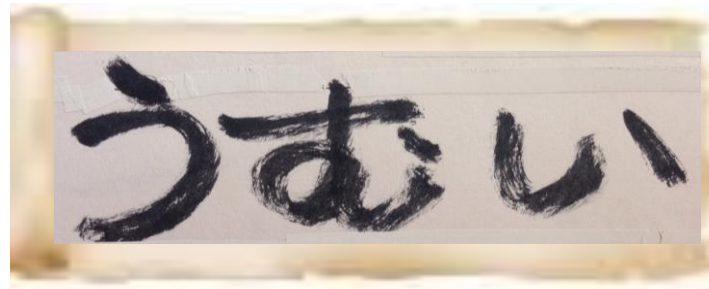


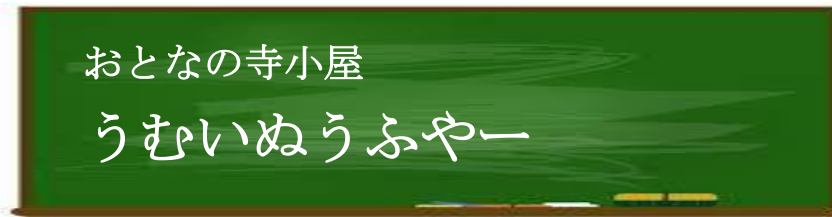
第58号

令和2年8月1日発行



発行
うむい合同会社

〒904-2164
沖縄市桃原2-16-37
電話:098-988-5598



あしあと
利用者ものがたり。
渡眞利トヨさん編

「学校より仕事」

(学生時代編)



伸さん宅にて。

音楽が聞こえるところでも元気に歌いだす、むーとふやーの歌姫 渡眞利トヨさんのあしあと第二弾をお届けいたします。

子ども時代にはあまり学校に行く暇もなく、家族の手伝いとして仕事をしていました。

そして、戦争では国のために力をつくした衛生兵であった長男兄さんを亡くし、とてもツライ思いをしたときもありました。

今の、いつでもニコニコしているトヨさんからは、こんなに悲しいことを経験していたということが想像できません。

悲しい気持ちを思い出さないよう、トヨさんはお母さんたちとともに畑仕事に没頭します。

「野菜、さとうきび、んむ(芋)なんでも作っていたよー」

「家畜もね、馬と豚養っていたよ！家族の手伝いならなんでもしてきたから忙しかった」といいます。とても、家族思いですよ。ね。「次男兄さんも忙しい人だね、飛行場で働いてたよ。たまに、私も連れていって来て、そこでお手伝いしていたら、ご褒美に憧れのセーラー服をもらって、とってもうれしかったさ〜」

僕は、気になりました。「セーラー服は中学生になると必ず着ないといけないものじゃないんですか？」

「貧乏な家庭も多かったから、どの家庭も仕事ばかりだよ」「学校に行っても帰ってきたらすぐ畑仕事、馬・豚の世話しないとけないから動きやすい服ですごしていたよ」

家族みんな働いた分、少しずつ安定した生活ができるようになりました。

それでも、渡眞利家の野菜をもっとたくさん売るために、「宮古島 たいら市」に馬車で野菜を売りに行きました。馬車に乗っているときも歌いながら、たいら市に行っていたんだろうなあ。

売りに行ったら全部売ってから帰ってきたといいます。この笑顔で接客されると買いたくなりますよ。ね！

たいら市に何度か品物を売りに行っていたトヨさんは、運命の相手と出会います。どんな、出会い方をするのでしょうか。

続きは次号にて。

文：佐和田裕也



歌っているときも笑顔。



洋服おそろいですかね。

あんない
かんない

経験は財産

先日、うむいぬうふやーでは、「映学会」を行いました。

うふやーの生徒さんが昔見たであろう光景がたくさん映っていて、熱心に見入っていました。

「先生、はい！」「私もこれ分かるよー！」と、みなさんが当時のことを思い出し発表しました。「昔は、んむ(芋)ばかりたべていたよー」「アメリカもたくさんいた」「学校も行かないで家の仕事ばかりしていたよー」「豚も養っていた」

おぼえていることは、僕たちになんでも教えてくれました。子供のころから仕事をして、大変な思いもしたけど、いろんな経験をしてきたからこそ、今の若い人たちになんでも教えることができるんですね。



食べものが全然なかった。



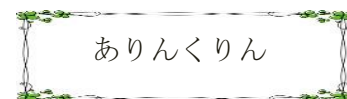
はい！これ分かるよー！



映画館。
ポップコーンの代わりにおかし。



あの頃、思い出すきー！



クリックだけじゃ開かない利用者の心 (スタッフ紹介)

こんにちは、饒辺勉です！生まれも、育ちも北中城村喜舎場。

釣りが大好きで、50cmのタマンを釣ることを目標にしています！釣れたらひとりで隠れて食べようか迷っています。大好物はヤギ汁、ソーキ汁、テビチ汁、とにかく汁物が大好きです。食べることは好きなんですけど、マシュマロだけは嫌いです。

食べ物の話ばかりすみません(笑) 大事なことを忘れていました！

以前は、IT業界で働いていました。この業界は全くの未経験で右も左も分からない状態です。いろいろなことを教えていただけると助かります。



笑顔で「お・も・て・な・し」